

連携提案：国語の語彙教育・文法教育に関する魅力的な授業の創造

キーワード：日本語、語彙、文法、言語生活、言語資料、教材化

人文・社会教育学系 准教授

鯨井 綾希 Kujirai Ayaki

連携提案内容と効果

新しい学習指導要領には「生きる力」の育成に向けて「言語活動の充実」という項目の重要性が挙げられています。日本においてその基盤を成すのは、国語科で学ぶ日本語という言語であると言えます。日本語を自由自在に使えるように、また理解できるようにするための、語学的な知識に基づく分析力・思考力・表現力の醸成は、将来の教育的取り組みとして一層重要になっていくことでしょう。そうした取り組みに寄与するため、私を含む日本語学者は日々日本語の特徴を明瞭に伝える技術を磨いています。また、私はそうした技術を用いて、生徒の日本語能力の向上を目的とした具体的な国語の授業を考えています。

○日常の言葉で言語生活と国語学習を結び

我々がなすべきこと：言語資料と考える機会/視点の提供

言葉に関する感覚を説明するために「知識」(教科書)を活用

言葉の仕組みや広がりを感じ取れる言語資料

語句の位置を変更して意味を明確にしよう

上野さんは高橋さんと松本さんに
町の歴史を尋ねた

問1：「町の歴史を尋ねた」のは誰かな?
(二通り考えられます)

問2：「尋ねた人」を上野さんと高橋さんの二人に固定するにはどうする?

文法的な操作に関する訓練

語の意味理解と相互関係を考えるための辞書の活用

語同士の依存関係を考えてみよう

みなみ【南】太陽の出る方に向かって右の方角。
みぎ【右】南を向いたとき、西にあたる側。

語同士でループしない「語釈」の考案

非対称なものを見つけて、それを利用するなど
例：『新明解国語辞典 第7版』「右」→「明」という漢字の「月」の側

Available Expansions

文 → 主語 目的語 述語

主語 → 名詞 助詞
目的語 → 名詞 助詞
述語 → 動詞 助動詞

名詞 → 犬
名詞 → 寝
動詞 → 似てる
助詞 → は
助詞 → が
助詞 → を
助動詞 → のだ
助動詞 → だ

犬は寝に似てるのだ
犬は寝に似てるのだ

Last Operation: Match: のだ [COMPLETE PARSE]

Step Autostep Expand Match Backtrack

コンピューティングに基づく日本語文法の一貫性の検証作業

アピールポイント

他大学の研究者や地域の学校の先生方と発見に基づく言語教育を目指しています。大学院生や卒業生、修了生にも協力を仰ぎ、具体的な授業を構想しています。最近ではICTやコンピュータの国語教育への応用も模索しています。

連携したい分野

- ・小・中・高等学校（国語科を軸としつつ横断的に）
- ・教科書や教材・国語辞典を作成している出版社
- ・国語科における授業方法・評価方法を検討している塾

本学での研究テーマ：国語科における語学的側面に関する教育方法の開発と学校現場に活用可能な言語資料の発掘

	プロフィール	宮城県仙台市生まれ。東北大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。本学講師を経て准教授。趣味はバイクでの地域散策と安価な腕時計の蒐集。写真中の腕時計はケルトンのキャンパー。	専門分野	日本語学、計量言語学
	関連URL	本学研究シーズ集 https://www.juen.ac.jp/050about/055kenkyu/050seeds/index.html	主な研究内容	1) 日本語の語彙の分布に基づいた品詞体系の再構築 2) 日本語の文章に見られる結束性の原理の解明 3) 日本語の語彙・文章の相互影響関係の解明

関連する業績等

「コーパスと計量分析に基づく日本語語彙の品詞分類」(日本学術振興会 科学研究費助成事業(基盤研究(C)): 研究代表者、2022-2026) 「文章展開メカニズムの解明に向けた語彙拡張プロセスに関する研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業(若手研究): 研究代表者、2019-2022) 「文章を構成する語彙の相互関係に関する定量的研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業(若手研究(B)): 研究代表者、2017-2019) 「日本語母語話者/学習者の語彙運用上の差異の解明: コーパスと計量分析を活用して」(語彙研究会「公益信託田島毓堂語彙研究基金」研究助成: 研究代表者、2015-2017)

お問い合わせは、鯨井研究室 kujirai@juen.ac.jp まで。